

エネルギー関連展示会等出展支援事業費補助金交付要綱

(趣旨)

第1条 大分県エネルギー産業企業会（以下「企業会」という。）の会長（以下「会長」という。）は、本県の強みを活かしたエネルギー関連産業のより一層の発展を目的として、会員企業が開発したエネルギー関連製品、システム等の販路開拓の取組への支援を通じ、エネルギー産業の育成を図るため、会員企業が展示会等に出展するにあたり必要となる経費に対し、予算の定めるところにより補助金を交付するものとし、その交付については、この要綱の定めるところによるもののほか、大分県補助金等交付規則（昭和43年大分県規則第27号。以下「規則」という。）を準用する。

(定義)

第2条 この要綱において、用語の定義は次の各号に掲げるとおりとする。

- (1)「エネルギー関連製品、システム等」とは、再生可能エネルギー、次世代エネルギー、その他エコエネルギーの用に供する製品、システム等をいう。
- (2)「県内中小企業」とは、中小企業者（中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条に規定する中小企業者をいう。ただし、発行済株式の総数又は出資価額の総額の2分の1以上が同一の大企業の所有に属している中小企業者、又は役員の総数の2分の1以上を大企業の役員又は職員が兼ねている中小企業者は除く。）、中小企業団体の組織に関する法律（昭和32年法律第185号）第3条第1項に規定する中小企業団体（ただし、火災共済共同組合、信用協同組合又は同組合連合会並びに商工組合連合会は除く。）、特定の法律によって設立された組合及びその連合会であってその直接又は間接の構成員たる事業者の3分の2以上が中小企業基本法第2条に規定する中小企業者である団体であって、大分県内に主たる事業所を置くものをいう。

(補助事業者)

第3条 補助金の交付を受けることができる者（以下「補助事業者」という。）は大分県エネルギー産業企業会の会員企業である県内中小企業とする。

(補助対象事業)

第4条 補助交付の対象となる事業（以下「補助対象事業」という。）は、次の各号に定めるものとする。

- (1) 会員企業が開発したエネルギー関連製品・システム等の販路開拓を図るため、国内外の展示会等への出展を行うもの

(補助対象経費及び補助率等)

第5条 この補助金の交付の対象となる経費（以下「補助対象経費」という。）及び補助率は、別表のとおりとする。

2 同一の補助事業者に対する補助金の交付は、同一年度内において1回を限度とする。

（補助金の交付申請）

第6条 規則第3条第1項の規定による申請は、補助金交付申請書（第1号様式）によるものとし、次に掲げる書類を添付し、会長が別に定める期日までに会長に提出しなければならない。

- (1) 事業計画書（第2号様式）
- (2) 収支予算書（第3号様式）
- (3) 会社概要（パンフレット等）
- (4) 法人の登記簿謄本（写し）
- (5) 出展予定の展示会の概要がわかる書類（パンフレット等）
- (6) 誓約書
- (7) 賃金増加率試算表（第4号様式） ※賃上げ枠のみ
- (8) その他会長が必要と認める書類

2 第1項の規定による申請書を提出するにあたって、事業実施主体について、当該補助金に係る消費税及び地方消費税（以下「消費税等」という。）仕入控除税額（補助対象経費に含まれる消費税等相当額のうち、消費税法（昭和63年法律第108号）に規定する仕入れに係る消費税額として控除できる部分の金額と当該金額に地方税法（昭和25年法律第226号）に規定する地方消費税率を乗じて得た金額との合計額に補助率を乗じて得た金額をいう。以下同じ。）がある場合は、これを減額して申請しなければならない。ただし、申請時において当該補助金に係る消費税等仕入控除税額が明らかでない場合は、この限りでない。

（補助条件）

第7条 規則第5条の規定による補助条件は、次のとおりとする。

- (1) 補助事業の内容又は経費の配分の変更（会長が定める軽微な変更を除く。）をする場合は、補助事業変更承認申請書（第5号様式）を会長に提出し、その承認を受けること。
- (2) 補助事業を中止し、又は廃止する場合は、会長の承認を受けること。
- (3) 補助事業が予定の期間内に完了しない場合又は補助事業の執行が困難となった場合は、すみやかに会長に報告し、その指示を受けること。
- (4) この補助金に係る収入及び支出を明らかにした預金通帳、金銭（預金）出納簿等の帳簿及び契約書、領収書等の証拠書類は、補助事業が完了した日の属する年度の翌年度から起算して5年間整備保管すること。

- (5) 暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）又は暴力団（同法第2条第2号に規定する暴力団をいう。）若しくは暴力団員と密接な関係を有する者であってはならないこと。
- (6) この補助事業によって取得し、又は効用の増加した財産（以下「財産」という。）は、会長の承認を受けずに、補助金の交付目的に反して使用し、譲渡し、交換し、貸付け又は担保の用に供してはならないこと。ただし、減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和40年大蔵省令第15号。以下「大蔵省令」という。）に定められている財産については、大蔵省令に定められている耐用年数に相当する期間を経過している場合はこの限りではないこと。
- (7) 財産は、財産管理台帳及びその他関係書類を整備保管し、当該補助事業の完了後においても善良な管理者の注意をもって管理するとともに、補助金の交付目的に従って、その効率的な運用を図ること。
- (8) 会長の承認を受けて財産を処分したことにより収入があった場合は、その収入の全部又は一部を企業会に納付させることがあること。
- (9) 第6条第2項ただし書きの規定により補助金の交付申請をした場合は、第12条の規定による実績報告書の提出時に、当該補助金に係る消費税等仕入控除税額が明らかになったときは、これを補助金額から減額して報告すること。
- (10) 第6条第2項ただし書きの規定により補助金の交付申請をした場合は、第13条の規定による補助金の額の確定通知を受けた後において、消費税等の申告により当該補助金に係る消費税等仕入控除税額が確定したときは、その金額（前号の規定により減額した場合は、その金額が減じた額を上回る部分の金額）を補助金に係る消費税等仕入控除税額確定報告書（第6号様式）により速やかに会長に報告するとともに、当該金額を返還すること。
- (11) その他、規則及びこの要綱の定めに従うこと。

2 規則第5条第1項第1号の規定による会長の定める軽微な変更の範囲は、補助金の額に変更を及ぼさない変更であって、次のとおりとする。

- (1) 補助金の交付目的に反しない事業内容の変更
- (2) 補助対象経費の30パーセント以内の増減

（補助金の交付決定の通知）

第8条 規則第6条の規定による通知は、補助金交付決定通知書（第7号様式）により行うものとする。

（申請の取下げのできる期間）

第9条 規則第7条第1項の規定により申請の取下げのできる期間は、補助金交付決定通

知書を受理した日から起算して15日を経過した日までとする。

(補助金の交付方法)

第10条 この補助金は、精算払の方法により交付する。ただし、会長が必要と認める場合は、概算払の方法により交付することができる。

(補助金の交付請求)

第11条 補助金の交付決定の通知を受けたものが、補助金の交付を請求しようとするときは、エネルギー関連展示会等出展支援事業費補助金交付請求書(第8号様式)を会長に提出しなければならない。

(実績報告)

第12条 規則第12条の規定による実績報告は、補助事業実績報告書(第9号様式)によるものとし、次に掲げる書類を添付し、事業完了若しくは廃止の承認を受けた日から起算して30日を経過した日、又は補助金の交付決定のあった日の属する年度の翌年度の4月20日のいずれか早い期日までに会長に提出しなければならない。

- (1) 事業結果報告書(第10号様式)
- (2) 収支精算書(第11号様式)
- (3) 請求書及び領収書等(支払い確認可能な書類)の写し
- (4) 賃金増加率計算表(第12号様式) ※賃上げ枠のみ
- (5) 賃金増加率計算表対象外従業員一覧(第13号様式) ※賃上げ枠のみ
- (6) 実績報告前(賃上げ後)の直近1か月分の賃金台帳 ※賃上げ枠のみ
- (7) その他会長が必要と認める書類

(補助金の額の確定)

第13条 規則第13条の規定による通知は、補助金の額の確定通知書(第14号様式)により行うものとする。

(書類の提出部数等)

第14条 規則及びこの要綱の規定により会長に提出する書類の部数は1部とし、その様式及び提出期限は、この要綱の本則に定めのあるもののほか、別に会長が定めるところによる。

附 則

この要綱は、令和8年度予算に係るエネルギー関連展示会等出展支援事業費補助金から適用する。

別表

【第5条第1項第1号に該当するもの】

補助対象経費		補助率 (補助限度額)
経費区分	内容	
(1) 会場借上費	出展小間料、小間装飾料（リース・レンタル代、デザイン料、光熱水道費等を含む）に必要な経費	【通常枠】 1/2以内 (上限40万円)
(2) 展示品運搬費	出展に必要な展示品を運搬するために必要な経費	【賃上げ枠】 2/3以内 (上限55万円)
(3) 販売促進費	ポスター等の印刷（デザイン料を含む）、製品紹介に用いるプロモーションビデオ作成に必要な経費	※

(備考) 補助対象経費の欄の内容区分に掲げる「経費」は、展示会等への出展にあたり、(人件費及び旅費を除く)直接的に必要なとされるものに限る。

※「賃上げ枠」について

(1) 要件

県への実績報告前の直近1か月分の給与・賃金等(残業代や賞与、各種手当、役員に支払った給与及び役員報酬等、福利厚生費、法定福利費や退職金は除く)の総支給額が、賃上げ前(事業実施前)と比較して1.5%以上増加していること。

ただし、時給日給雇用者については、労働時間を事業実施前の月ベースで揃えて算出・比較すること。

(2) 計算対象者

賃上げ前後の賃金台帳提出月に、当該事業所で雇用するすべての従業員のうち、同条件で在籍する者(アルバイト、パート等含む)

※賃上げ前後の賃金台帳提出月において、同条件で在席していない従業員は対象外

例①賃上げ前の賃金台帳には記載があるが、その後、退職や休職に伴い、

賃上げ後の賃金台帳には記載がない者

例②賃上げ前の賃金台帳には記載がないが、その後雇用された者

例③賃上げ前後の賃金台帳において、賃金形態が変更となっている者

(時給→日給など)

(3) 対象となる「賃上げ」の実施時期

事業を実施する年度の4月1日から実績報告直近1か月までの間

第1号様式（第6条関係）

令和 年度エネルギー関連展示会等出展支援事業費補助金交付申請書

年 月 日

大分県エネルギー産業企業会会長 殿

住所（事業実施主体代表者の所在地, 郵便番号）:

名称（事業実施主体代表者の名称）:

氏名（事業実施主体代表者の代表者の氏名）:

____年度において、下記のとおりエネルギー関連展示会等出展支援事業を実施したいので、補助金_____円を交付されるよう、エネルギー関連展示会等出展支援事業費補助金交付要綱第6条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

- | | | |
|--------------------------|------------|---|
| 1 事業目的及び内容 | 事業計画書のとおり | |
| 2 補助金交付申請額 | 補助事業に要する経費 | 円 |
| | 補助対象経費 | 円 |
| | 補助金交付申請額 | 円 |
| 3 添付書類 | | |
| (1) 事業計画書（第2号様式） | | |
| (2) 収支予算書（第3号様式） | | |
| (3) 会社概要（パンフレット等） | | |
| (4) 法人の登記簿謄本（写し） | | |
| (5) 出展予定の展示会の概要（パンフレット等） | | |
| (6) 誓約書 | | |
| (7) 賃金増加率試算表（第5号様式） | ※賃上げ枠のみ | |
| (8) その他会長が必要と認める書類 | | |

第2号様式（第6条関係）

事業計画書（申請者用）

1 申請者の概要

企業名			
所在地			
代表者名	役職	氏名	
主たる業種			
主要製品			
従業員数	名	設立	年 月
資本金	千円	売上高	千円
連絡担当者	所属・役職	氏名	
	TEL	e-mail	

2 事業内容

申請の区分	通常枠 ・ 賃上げ枠
展示会の名称	
会場及び所在地	(会場名) (所在地)
事業完了予定日 (開催期間)	年 月 日 (年 月 日～ 年 月 日)
出展内容	
出展による効果 (目標)	

第3号様式（第6条関係）

収支予算書

1 収入の部

（単位：円）

項目	予算額	備考
自己資金		
補助金		
借入金		
その他		
計		

2 支出の部

（単位：円）

項目	予算額	備考
会場借上費		
展示品運搬費		
販売促進費		
計		

※詳細については別紙に記載すること。

別紙

経費区分	内容	補助事業に要する経費	補助対象経費	補助金交付申請額	備考
会場借上料					
	計				
展示品運搬費					
	計				
販売促進費					
	計				
合計					

- ※1 「補助事業に要する経費」は、当該補助事業に要する経費を税込みで記載すること。
- ※2 「補助対象経費」は、「補助事業に要する経費」から消費税や振込手数料などの補助対象外経費を除いた額を記載すること。
- ※3 「補助金交付申請額」は、「補助対象経費」の合計に補助率を乗じた金額以内で、かつ、補助限度額以内を記載すること。千円未満は切り捨てること。

誓約書

私は、下記の事項について誓約します。

なお、大分県エネルギー産業企業会が必要な場合には、大分県警察本部に照会することについて承諾します。

また、照会で確認された情報は、今後、私が、大分県エネルギー産業企業会と行う他の契約における確認に利用することに同意します。

記

- 1 自己又は自己の役員等は、次の各号のいずれにも該当しません。
 - (1) 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）
 - (2) 暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）
 - (3) 暴力団員が役員となっている事業者
 - (4) 暴力団員であることを知りながら、その者を雇用・使用している者
 - (5) 暴力団員であることを知りながら、その者と下請契約又は資材、原材料の購入契約等を締結している者
 - (6) 暴力団又は暴力団員に経済上の利益又は便宜を供与している者
 - (7) 暴力団又は暴力団員と社会通念上ふさわしくない交際を有するなど社会的に非難される関係を有している者
 - (8) 暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれらを利用している者
- 2 1の(1)から(8)までに掲げる者が、その経営に実質的に関与している法人その他の団体又は個人ではありません。

年 月 日

大分県エネルギー産業企業会 会長 殿

[法人、団体にあつては事務所所在地]

住 所

(ふりがな)

氏 名

生年月日（明治・大正・昭和・平成） 年 月 日

※大分県エネルギー産業企業会では、大分県暴力団排除条例に基づき、補助金交付事務から暴力団を排除するため、申請者に暴力団等でない旨の誓約をお願いしています。

第5号様式（第7条関係）

令和 年度エネルギー関連展示会等出展支援事業変更承認申請書

年 月 日

大分県エネルギー産業企業会会長 殿

住所（事業実施主体代表者の所在地、郵便番号）：

名称（事業実施主体代表者の名称）：

氏名（事業実施主体代表者の代表者の氏名）：

連絡担当者（職名及び氏名）：

電話番号：

年 月 日付け第 号 で交付決定通知のあった 年度エネルギー関連展示会等出展支援事業について、下記のとおり変更したいので承認されるよう、エネルギー関連展示会等出展支援事業補助金交付要綱第7条第1項第1号の規定により申請します。

記

1 変更交付申請額	金	円
既交付決定額	金	円
変更による増減額	金	円

2 変更の理由

（備考）

以下、第1号様式の記の3以下に準じて作成するものとし、変更前と変更後が比較対照できるよう、変更部分を二段書きにし、変更前をカッコ書きで上段に記載すること。

第6号様式（第7条関係）

令和 年度エネルギー関連展示会等出展支援事業費補助金
に係る消費税等仕入控除税額確定報告書

年 月 日

大分県エネルギー産業企業会会長 殿

住所（事業実施主体代表者の所在地, 郵便番号）：
名称（事業実施主体代表者の名称）：
氏名（事業実施主体代表者の代表者の氏名）：
連絡担当者（職名及び氏名）：
電話番号：

年 月 日付け第 号 で交付決定通知のあった 年度エネルギー関連
展示会等出展支援事業費補助金に係る消費税等仕入控除税額が確定したので、エネルギー
関連展示会等出展支援事業費補助金交付要綱第7条第1項第10号の規定により、下記の
とおり報告します。

記

1 補助金の額の確定額	金	円
（ 年 月 日付け第 号 による額の確定通知額）		
2 補助金の額の確定時に減額した消費税等仕入控除税額	金	円
3 消費税等の申告により確定した消費税等仕入控除税額	金	円
4 助金返還相当額（3－2）	金	円
5 その他		

（1）消費税等仕入控除税額集計表（別紙）を添付すること。

（2）その他参考となる書類

※消費税確定申告書の写し及びその添付書類（補助金に係るもの）を添付すること。

別紙

令和 年度エネルギー関連展示会等出展支援事業費補助金
に係る消費税等仕入控除税額集計表

仕入に係る消費税額及び 地方消費税額 (A)	補助率 (B)	仕入に係る消費税等仕入 控除税額 (A×B)	備考

(注) 1 「仕入に係る消費税額及び地方消費税額」欄は、補助対象経費に含まれる消費税等相当額のうち、消費税法の規定により、仕入に係る消費税額と当該金額に地方税法に規定する地方消費税率を乗じて得た金額との合計額を記載すること。

2 「仕入に係る消費税等仕入控除税額」欄は、補助対象経費に含まれる消費税等相当額のうち、消費税法の規定により、仕入に係る消費税額として控除できる金額と当該金額に地方税法に規定する地方消費税率を乗じて得た金額との合計額に補助率を乗じて得た金額を記載すること。

第7号様式（第8条関係）

令和 年度エネルギー関連展示会等出展支援事業費補助金交付決定通知書

第 号
年 月 日

殿

大分県エネルギー産業企業会会長

年 月 日付けで補助金の交付申請のあった 年度エネルギー関連展示会等出展支援事業費補助金については、下記のとおり交付することに決定したので、エネルギー関連展示会等出展支援事業費補助金交付要綱（以下「要綱」という。）第7条の規定により通知します。

記

1 補助対象経費 金 円
2 補助金の交付決定額 金 円

3 補助条件

- (1) 補助事業の内容又は経費の配分の変更（会長が定める軽微な変更を除く。）をする場合は、補助事業変更承認申請書（第4号様式）を会長に提出し、その承認を受けること。
- (2) 補助事業を中止し、又は廃止する場合は、会長の承認を受けること。
- (3) 補助事業が予定の期間内に完了しない場合又は補助事業の執行が困難となった場合は、すみやかに会長に報告し、その指示を受けること。
- (4) この補助金に係る収入及び支出を明らかにした預金通帳、金銭（預金）出納簿等の帳簿及び契約書、領収書等の証拠書類は、補助事業が完了した日の属する年度の翌年度から起算して5年間整備保管すること。
- (5) 暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）又は暴力団（同法第2条第2号に規定する暴力団をいう。）若しくは暴力団員と密接な関係を有する者であってはならないこと。

- (6) この補助事業によって取得し、又は効用の増加した財産（以下「財産」という。）は、会長の承認を受けずに、補助金の交付目的に反して使用し、譲渡し、交換し、貸付け又は担保の用に供してはならないこと。ただし、減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和40年大蔵省令第15号。以下「大蔵省令」という。）に定められている財産については、大蔵省令に定められている耐用年数に相当する期間を経過している場合はこの限りではないこと。
- (7) 財産は、財産管理台帳及びその他関係書類を整備保管し、当該補助事業の完了後においても善良な管理者の注意をもって管理するとともに、補助金の交付目的に従って、その効率的な運用を図ること。
- (8) 会長の承認を受けて財産を処分したことにより収入があった場合は、その収入の全部又は一部を企業会に納付させることがあること。
- (9) 第6条第2項ただし書きの規定により補助金の交付申請をした場合は、第12条の規定による実績報告書の提出時に、当該補助金に係る消費税等仕入控除税額が明らかになったときは、これを補助金額から減額して報告すること。
- (10) 第6条第2項ただし書きの規定により補助金の交付申請をした場合は、第13条の規定による補助金の額の確定通知を受けた後において、消費税等の申告により当該補助金に係る消費税等仕入控除税額が確定したときは、その金額（前号の規定により減額した場合は、その金額が減じた額を上回る部分の金額）を補助金に係る消費税等仕入控除税額確定報告書（第5号様式）により速やかに会長に報告するとともに、当該金額を返還すること。
- (11) その他、大分県補助金等交付規則及びこの医療関連展示会等出展支援事業費補助金交付要綱の定めに従うこと。
- 2 会長の定める軽微な変更の範囲は、補助金の額に変更を及ぼさない変更であって、次のとおりとする。
- (1) 補助金の交付目的に反しない事業内容の変更
- (2) 補助対象経費の30パーセント以内の増減

(備考)

要綱第7条第1項第1号の規定による補助事業変更承認申請書（第4号様式）に基づき変更交付決定をする場合は、この様式中「交付決定通知書」を「変更交付決定通知書」に、「交付申請」を「変更承認申請」に、「交付」を「変更交付」にそれぞれ読み替えるものとし、記の1及び2については、変更前をカッコ書きで上段に記載すること。

第8号様式（第11条関係）

令和 年度エネルギー関連展示会等出展支援事業費補助金交付請求書

年 月 日

大分県エネルギー産業企業会会長 殿

住所（事業実施主体代表者の所在地, 郵便番号）：

名称（事業実施主体代表者の名称）：

氏名（事業実施主体代表者の代表者の氏名）：

連絡担当者（職名及び氏名）：

電話番号：

年 月 日付け第 号 で交付決定通知のあった 年度エネルギー関連展示会等出展支援事業費補助金については、下記のとおり精算払（概算払）の方法により交付されるよう、エネルギー関連展示会等出展支援事業費補助金交付要綱第11条の規定により請求します。

記

補助金交付 決定額	既受領額	今回請求額	残額	事業完了予定 (完了)年月日	備考
円	円	円	円		

支払先：

金融機関名：

口座番号：

口座名義：

第9号様式（第12条関係）

令和 年度エネルギー関連展示会等出展支援事業実績報告書

年 月 日

大分県エネルギー産業企業会会長 殿

住所（事業実施主体代表者の所在地, 郵便番号）：

名称（事業実施主体代表者の名称）：

氏名（事業実施主体代表者の代表者の氏名）：

連絡担当者（職名及び氏名）：

電話番号：

年 月 日付け第 号 で交付決定通知のあった 年度エネルギー関連展示会等出展支援事業について、下記のとおり実施したので、エネルギー関連展示会等出展支援事業費補助金交付要綱第12条の規定により、その実績について関係書類を添えて報告します。

記

1 事業内容及び効果 事業計画書のとおり

2 事業完了年月日 年 月 日

3 添付書類

(1) 事業結果報告書（第10号様式）

(2) 収支精算書（第11号様式）

(3) 請求書及び領収書等（支払い確認可能な書類）の写し

(4) 賃金増加率計算表（第12号様式）

※賃上げ枠のみ

(5) 賃金増加率計算表対象外従業員一覧（第13号様式）

※賃上げ枠のみ

(6) 実績報告前（賃上げ後）の直近1か月分の賃金台帳

※賃上げ枠のみ

(7) その他会長が必要と認める書類

第10号様式（第12条関係）

事業結果報告書（申請者用）

1 申請者の概要

企業名			
所在地			
代表者名	役職		氏名
連絡担当者	所属・役職		氏名
	TEL		e-mail

2 事業内容

申請の区分	通常枠 ・ 共同出展枠
展示会の名称	
会場及び所在地	(会場名) (所在地)
開催期間	年 月 日～ 年 月 日
出展内容	
出展による効果	
今後の事業目標	

※出展した展示会の概要がわかるもの（パンフレット等）及び展示の様子をまとめたもの（ブース写真や展示物の写真）等を添付すること。

※共同出展枠による申請の場合は、第9-2号様式についても記載すること。

第11号様式（第12条関係）

収支精算書

1 収入の部

（単位：円）

項目	精算額	予算額	備考
自己資金			
補助金			
借入金			
その他			
計			

2 支出の部

（単位：円）

項目	精算額	予算額	備考
会場借上費			
展示品運搬費			
販売促進費			
計			

※詳細については別紙に記載すること。

別紙

経費区分	内容	補助事業に要した経費	補助対象経費	補助金交付申請額	備考
会場借上料					
	計				
展示品運搬費					
	計				
販売促進費					
	計				
合計					

- ※1 「補助事業に要する経費」は、当該補助事業に要する経費を税込みで記載すること。
- ※2 「補助対象経費」は、「補助事業に要する経費」から消費税や振込手数料などの補助対象外経費を除いた額を記載すること。
- ※3 「補助金交付申請額」は、「補助対象経費」の合計に補助率を乗じた金額以内で、かつ、補助限度額以内を記載すること。

第14号様式（第13条関係）

年度エネルギー関連展示会等出展支援事業費補助金の額の確定通知書

第 号
年 月 日

殿

大分県エネルギー産業企業会会長

年 月 日付けで提出のあった 年度エネルギー関連展示会等出展支援事業
実績報告書に基づき、 年 月 日付け第 号による交付決定通知に係る補助
金の額 円については、金 円に確定したので、エネルギー関連
展示会等出展支援事業費補助金交付要綱第13条の規定により通知します。